

令和5年度不法投棄物クリーン活動

7月25日、不法投棄物クリーン活動を実施しました。

先日まで続いた長雨が影響し、作業に支障が出ないよう祈っておりましたが、願いが叶いすぎて当日は猛暑日に迫る炎天下での過酷な作業となってしまいました。

遠野支署では、「永遠の日本のふるさと遠野」の森林を守り育て、その環境と景観を保全するため、林野庁が設定している「国民の森林クリーン月間」に合わせ、遠野市内の関係機関・団体及び森林ボランティアに協力を呼びかけ毎年7月に実施しています。



活動は、支署職員が日頃のパトロールで発見したゴミや、事前に森林ボランティアや関係機関から情報提供いただいたゴミを回収します。今年は、遠野支署職員13名を含め42名の参加があり、4班に分かれて管内の不法投棄物の回収作業を行いました。

年々不法投棄物は少なくなっている。とはいえ、不法投棄物の中には人目に付きにくい山奥への廃タイヤや、沢にフレコンバックごと建築廃材を捨てていく等、悪質な行為も見受けられます。不法投棄という行為は、たとえペットボトルであっても「犯罪」であるということを認識していないのか、と悲しくもなります。

反面、過酷な作業にもかかわらず、大汗をかきながら一生懸命ゴミを撤去してくださる参加者の姿や、撤去し終えてきれいになった森林を見て心が洗われました。



作業後、参加者からは、「クリーン活動は非常に良い取組であり継続してほしい。」「この活動を広く発信し、市民に周知し、啓発できればよいのでは」「普段パトロールしているが、捨てた人の身元が分からず困っている。」等の意見が出されました。

これらの意見を生かし、これからも、地元報道機関への情報提供や各機関の広報誌やホームページを活用し、本活動を広くPRするとともに、日頃から関係機関等と情報を共有し、連携した取組を継続していきたいと思えます。

遠野市で森林への不法投棄が根絶する日まで・・・

(報告 岩手南部森林管理署遠野支署 芦野)